

# 愛知県における指導医師の 教育・スキルアップの取組

愛知県救急業務高度化推進協議会  
指導医師講習について

一般社団法人日本海員掖済会  
名古屋掖済会病院 副院長兼救命救急センター長  
愛知県救急業務高度化推進協議会副会長  
北川 喜己

# 指導医師の位置付け

愛知県救急業務高度化推進事業実施要領(15年1月)

救急体制の整備に関する基本指針(愛知県・18年3月)

救急救命士の再教育に関するガイドライン(愛知県・21年3月)

## 【指導医師】

指導医師講習を修了し、地区MC協議会長が承認した医師

## 【指導医師の役割】

- 救急救命士に対する指示及び救急隊員に対する指導・助言
  
- 救急活動毎の検証
  - ・ 救急隊活動記録票による検証
  - ・ 医学的指導助言等が必要と認めた場合の症例会の開催
  - ・ 各消防本部(検証管理者)から地区MC協議会(検証統括官:医師及び消防職員)に報告する検証結果への同意
  
- 救急隊員の再教育(運用教育・集合研修・病院実習)における指導・評価

# 指導医師講習の概要

## 【実施経緯】

- ・包括的指示下での除細動の運用(15年4月)

救急救命士(救急隊員)に対する指示(指導・助言)にあたる医師が次の内容を十分に理解していることが必要

- ・メディカルコントロール体制
- ・救急救命士・救急隊の活動・プロトコール
- ・救急活動の検証
- ・救急救命士の再教育

⇒平成14年度:指導医師講習を開催(以後、毎年実施)

# 指導医師講習の概要

## 【受講者数】

延べ718人が受講

年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
受講者数	38	80	45	—	130	36	37

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
受講者数	61	51	49	51	69	42	29

※14・15年度：消防職員（各消防本部におけるプロトコール運用指導者）への教育と併せて開催。

※18年度：プロトコール大幅改正（薬剤投与・ガイドライン2005）に伴う再受講を含む。

※26年度：指導医師フォローアップ講習（心肺機能停止前の輸液、血糖測定・ブドウ糖投与）を別に実施。

# 指導医師講習の概要

## 【目的】

愛知県救急業務高度化推進事業実施要領に基づき、救急救命士に対する特定行為の指示、救急活動の検証、病院実習時の指導等を円滑かつ的確に実施する。

## 【到達目標】

- ① メディカルコントロールという言葉の意味とその必要性を理解する。
- ② 愛知県の救急隊活動プロトコールの概要を理解する。
- ③ 救急活動記録票による検証のポイントを理解する。
- ④ ウツタイン様式とその意義・検証について理解する。
- ⑤ 消防法など関係法規から救急業務を理解する。

# 指導医師講習の概要

## 【講習の特徴】

- 救急隊員によるシミュレーションを用いた現場活動の提示  
（心肺停止症例、心肺停止前のショック・低血糖症例）  
⇒救急隊活動の理解、救急隊活動における医師の具体的指示
- 救急隊活動記録票（提示した現場活動を記録したもの）を用いた具体的検証ポイントの説明
- 講習内容（映像）をまとめたDVDの提供（事後学習）
- 関係法令や傷病者の搬送及び受入の実施に関する基準等についての講義

# 講習内容

## 【メディカルコントロール体制】(講義)

- ・救急救命士の処置範囲の概要
- ・メディカルコントロール体制の整備・推進
- ・救急救命士に対する直接的指示、間接的指示 など

## 【救急業務・救急搬送体制】(講義)

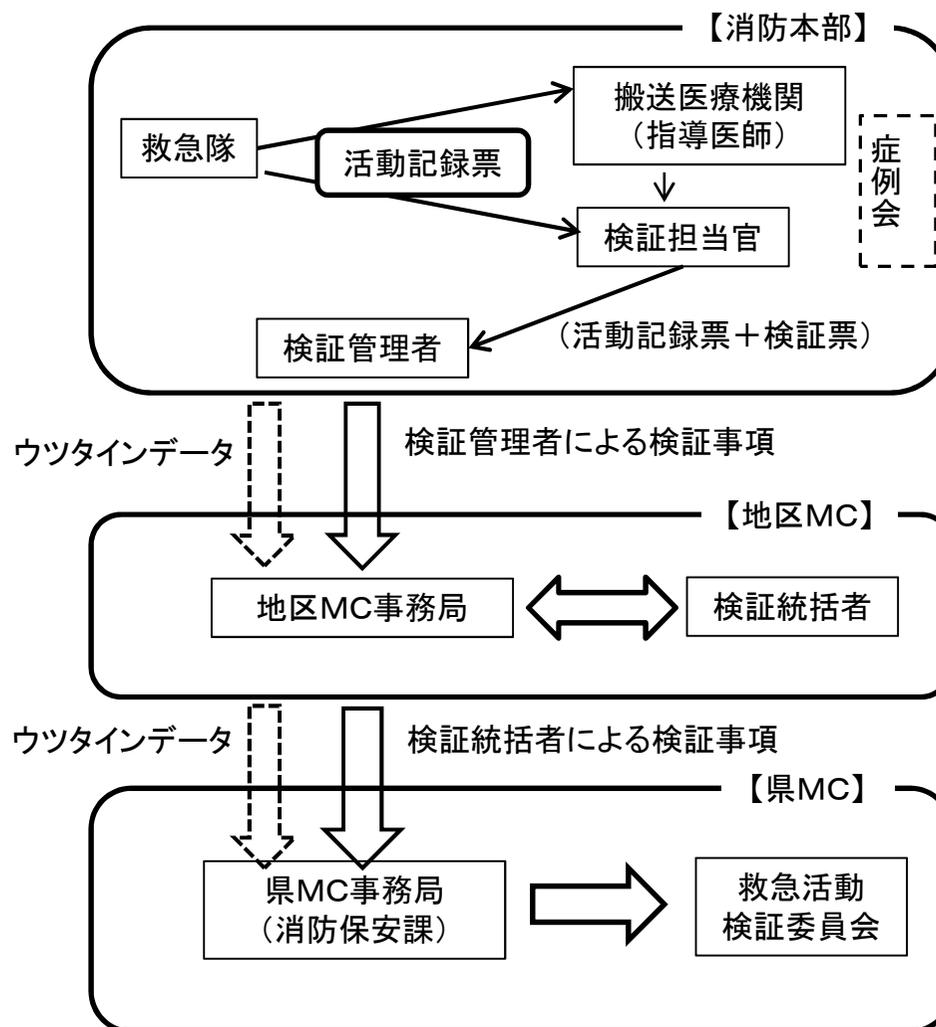
- ・救急救命士法、救急救命士制度の概要
- ・救急隊員の行う応急処置
- ・愛知県の救急搬送の現状
- ・傷病者の搬送及び受入の実施に関する基準 など



# 講習内容

## 【検証、ウツタイン統計】

- ・愛知県の検証体制
- ・個々の活動検証とウツタイン統計による疫学的検証
- ・愛知県のウツタイン分析 など



【愛知県における検証体制】

# 指導医師講習の概要

## 【展望・課題】

- 愛知県のメディカルコントロール体制の充実・強化にあたり、今後も継続して開催する。
- プロトコール改正等に伴い、随時、講習内容の追加、見直しを図る。
- 心肺蘇生法ガイドラインやプロトコールの大幅な見直しに伴い、再講習（再受講）を実施する。
- 年度中の医師の異動や指定医療機関の追加に対応できる講習開催方法を検討を要する。  
(年数回開催など)